

OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO
2025



2025年日本国際博覧会 (大阪・関西万博) について

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 2023年3月時点

これまでの取り組みと今後のスケジュール

2020年
万博の基礎をつくる

2021年
働きかけと具体化

2022年
開幕時の姿を
意識した準備に着手

2023年

2024年

2025年

7/13 プロデューサーの選定
8/25 ロゴマークの決定
9/16 博覧会推進本部が発足（国）
12/1 BIE総会（登録申請書の承認）
12/21 基本方針を閣議決定（国）
12/25 基本計画策定・公表（協会）
3/4 基本計画説明会
8/19 出展参加説明会
9月-10月 民間パビリオン出展募集
12/24 アクションプラン策定（国）
3/22、7/18 公式キャラクターデザイン決定、愛称が「ミヤクミヤク（MYAKU-MYAKU）」に決定
10/24 大阪・関西万博 特別仕様 ナンバープレート の交付開始
10/25、26 I P M の開催

10月-3月
ドバイ博
（登録博）



過去 4年間の成果を踏まえた、
「実行実現の年」

4月13日～
10月13日

大阪・関西万博 開催



ロゴマークの決定
（アンバサダー 松本幸四郎氏）



基本計画公表

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 概要①



● 役員構成：（2023年3月1日時点／敬称略）

会長（代表理事） 十倉 雅和 一般社団法人日本経済団体連合会会長
事務総長（代表理事） 石毛 博行 前独立行政法人日本貿易振興機構理事長

副会長（理事） 松本 正義 公益社団法人関西経済連合会会長 鳥井 信吾 関西商工会議所連合会会長、大阪商工会議所会頭
 生駒 京子 一般社団法人関西経済同友会代表幹事 塚本 能交 京都商工会議所会頭
 川崎 博也 神戸商工会議所会頭 小林 健 日本商工会議所会頭
 櫻田 謙悟 公益社団法人経済同友会代表幹事 吉村 洋文 大阪府知事
 松井 一郎 大阪市長 三日月 大造 関西広域連合長
 國部 毅 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 浅川 智恵子 日本科学未来館 館長、IBMフェロー
 財務委員会委員長

ウスビ・サコ 京都精華大学 前学長／全学研究機構長 人間環境デザインプログラム 教授

理事 池坊 専好 華道家元池坊 次期家元、一般財団法人池坊華道会副理事長
 小川 理子 パナソニック ホールディングス株式会社 参与 関西渉外・万博推進担当（兼）テクニクスブランド事業担当
 ロバート キャンベル 早稲田大学 特命教授
 栗原 美津枝 公益社団法人経済同友会 副代表幹事、株式会社価値総合研究所 代表取締役会長
 佐野 真由子 京都大学大学院教育学研究科 教授
 高橋 政代 株式会社ビジョンケア 代表取締役社長
 武内 紀子 一般社団法人日本経済団体連合会 審議委員会副議長、株式会社コングレ 代表取締役社長
 寺田 千代乃 アート引越センター株式会社 名誉会長
 野崎 治子 国立大学法人京都大学 理事
 長谷川 真理子 国立大学法人 総合研究大学院大学長
 廣瀬 恭子 大阪商工会議所 副会頭・女性会会長、株式会社広瀬製作所 代表取締役社長
 フォーリー淳子 一般社団法人関西経済同友会 常任幹事、大同門株式会社 代表取締役社長
 福本 ともみ サントリーホールディングス株式会社 顧問 CSRアンバサダー 公益財団法人サントリー芸術財団 専務理事
 御手洗 瑞子 株式会社気仙沼ニッティング 代表取締役社長
 芳野 友子 日本労働組合総連合会 会長

副事務総長（理事） 高科 淳 前内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長
 東川 直正 前近畿地方整備局長
 竹内 廣行 前大阪府副知事
 櫛 真夏 前公益社団法人関西経済連合会常務理事

監事 小原 正敏 きっかわ法律事務所 代表弁護士 中務 裕之 中務公認会計士・税理士事務所所長、公認会計士・税理士



公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会 概要②



【事務局組織図】

2019年1月30日

法人設立

2019年4月19日

万博特別措置法成立

2019年5月31日

経済産業大臣が当協会を博覧会
業務を行う法人に指定

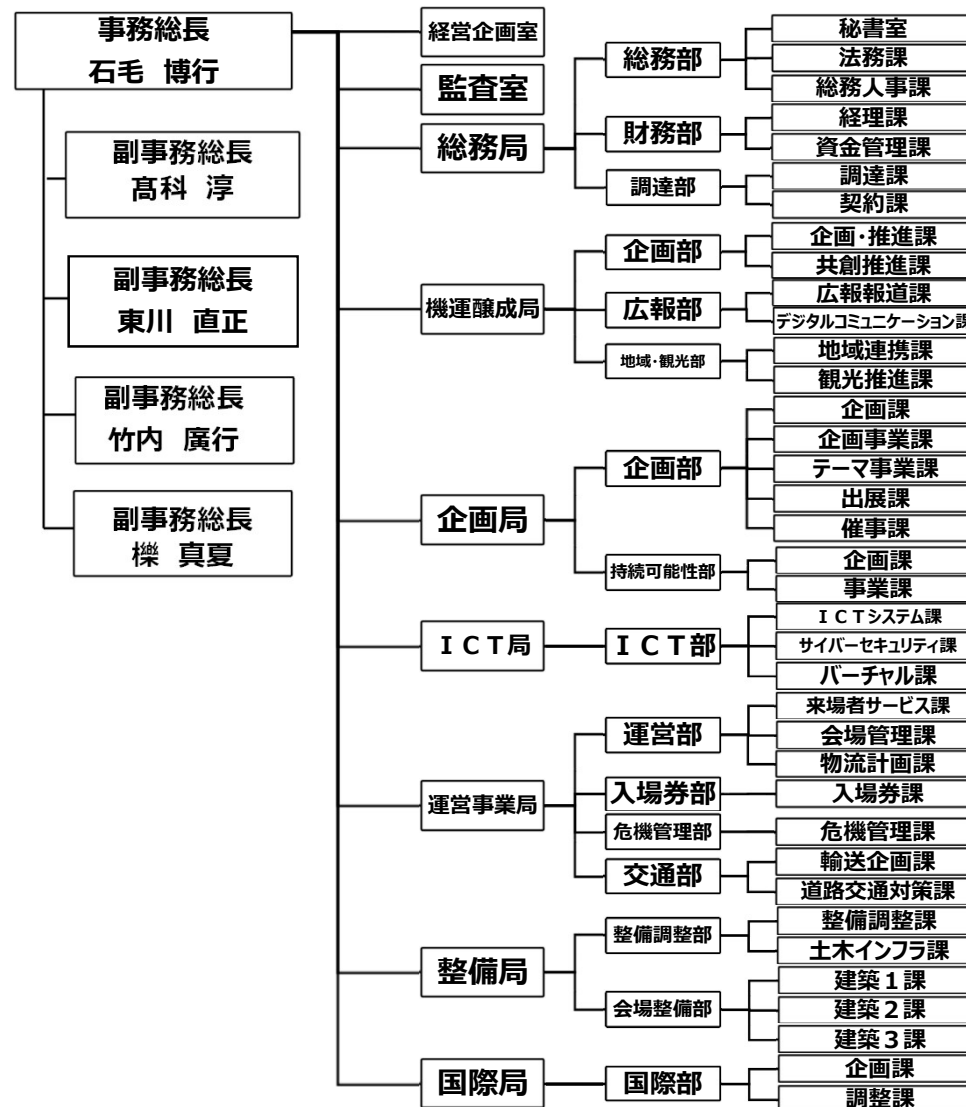
2019年10月21日

内閣府より公益認定を受け、
「公益社団法人」となる

●人員 (2023.3.1時点)

国・大阪府・大阪市・関西広域連合構成府県

市・経済界等より職員を派遣 (約510名)



万博の主要な担い手 プロデューサー



会場デザイン プロデューサー

藤本 壮介

建築家



©David Vintiner

会場運営 プロデューサー

石川 勝

プランナー、プロデューサー



テーマ事業 プロデューサー

宮田 裕章

慶応義塾大学教授



「いのちを響き合わせる」

石黒 浩

大阪大学名誉教授、
ATR石黒浩特別研究所客員所長



「いのちを拡げる」

中島 さち子

音楽家、数学研究者、
STEAM教育家



「いのちを高める」

落合 陽一

メディアアーティスト



「いのちを磨く」

催事企画 プロデューサー

小橋 賢児

クリエイティブディレクター



福岡 伸一

生物学者、
青山学院大学教授



「いのちを知る」

河森 正治

アニメーション監督、
メカニックデザイナー



「いのちを育む」

小山 薫堂

放送作家、
京都芸術大学副学長



「いのちをつむぐ」

河瀬 直美

映画作家



「いのちを守る」

シニアアドバイザー



- 協会における重要課題や専門的事項について、専門知識や技術、経験等を有する方から助言を受けるため、シニアアドバイザーを設置

(五十音順・敬称略)



安藤 忠雄
建築家

photo by 関野欣次



池坊 専好
華道家元池坊
次期家元



大崎 洋
吉本興業ホール
ディングス株式会
社代表取締役会長



桂 文枝
落語家



河瀬 直美
映画監督

©LESLIE KEE



**ロバート
キャンベル**
早稲田大学特命教授



**コシノ
ジュンコ**
デザイナー



五神 真
東京大学大学院
理学系研究科
教授



ウスビ・サコ
京都精華大学 前学長／
全学研究機構長 人間環境
デザインプログラム 教授



千 宗室
茶道裏千家家元



西尾 章治郎
大阪大学総長



宮田 亮平
金工作家



山極 壽一
総合地球環境学
研究所長



山崎 直子
宇宙飛行士

©NASA



吉田 憲司
国立民族学博物館長

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）開催概要



- 大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を体現する様々な参加形態や事業、会場のデザインを含む会場計画、運営計画、資金計画等をまとめた協会のマスタープラン「基本計画」を2020年12月25日策定・公表
- 基本計画に基づき、参加国、国際機関への招請活動や企業・団体・自治体・市民団体等の参加と共創を促進するとともに、各事業の実施計画の策定や具体的な取り組みを推進

開催概要

名 称	2025年日本国際博覧会（略称：大阪・関西万博）
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン
サブテーマ	Saving Lives（いのちを救う） Empowering Lives（いのちに力を与える） Connecting Lives（いのちをつなぐ）
コンセプト	People's Living Lab（未来社会の実験場）
会 場	夢洲(ゆめしま)（大阪市此花区）
開催期間	2025年4月13日～10月13日



会場デザイン① ～世界とつながる海と空に囲まれた万博～



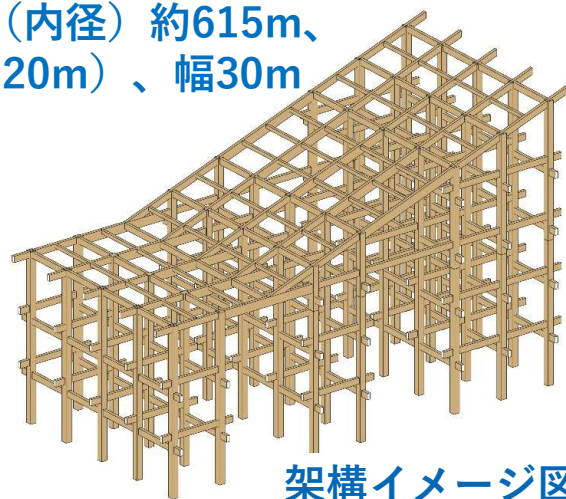
- 四方を海に囲まれた会場ロケーションを活かし、世界とつながる「海」と「空」に囲まれた万博としての会場デザイン及び企画などを実施。
- 「非中心・離散」の理念によって多様性を鼓舞し、そこに「つながり」を重ね合わせた「多様でありながら、ひとつ」をデザイン。



会場デザイン② ～大屋根（リング）～



円周約2km、直径（内径）約615m、
高さ12m（外側は20m）、幅30m



架構イメージ図

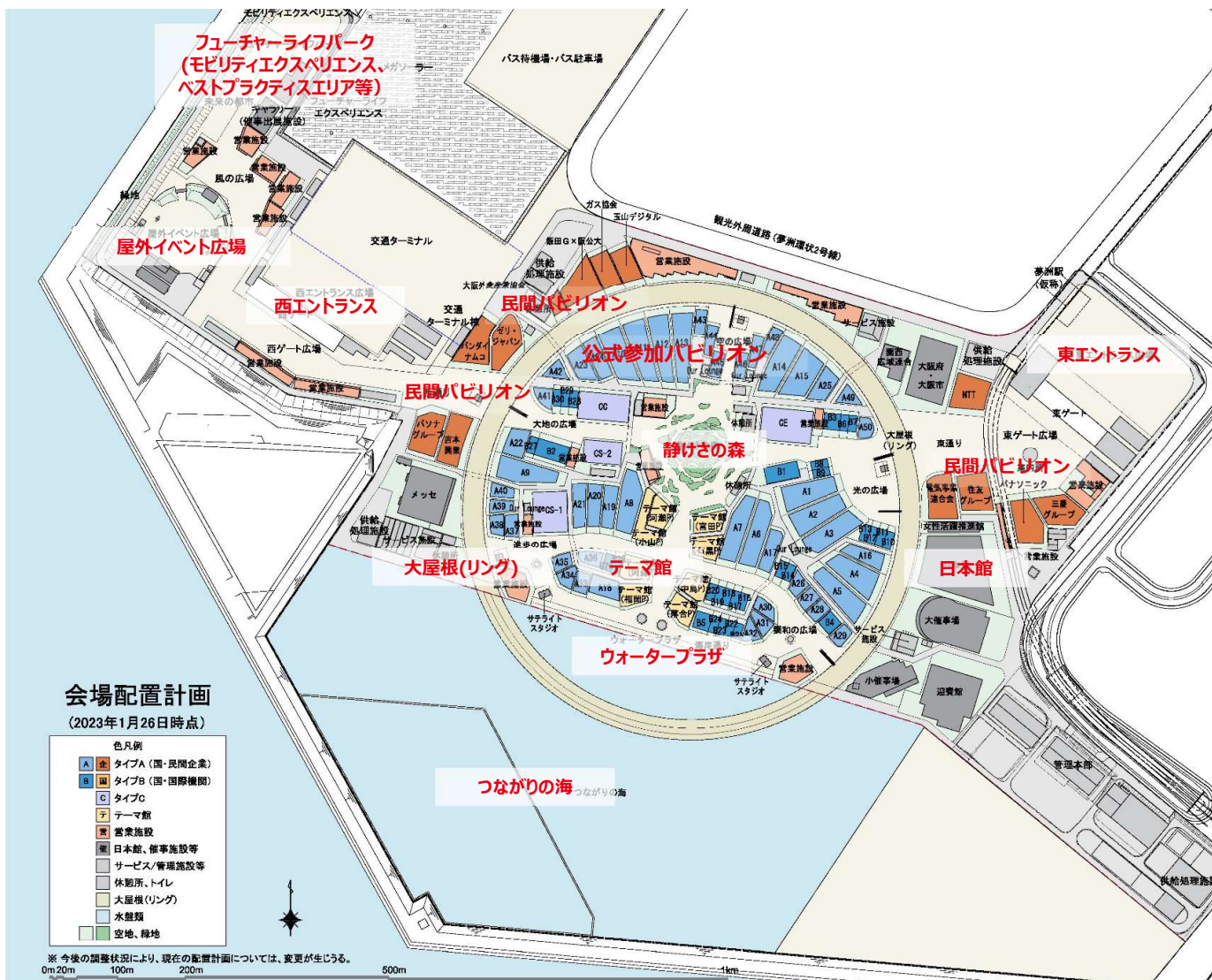
リング1F：グラウンドウォーク



リング2F：スカイウォーク



会場レイアウト ① (会場予定地 約155ha)



最新の模型公開



フライスルー動画

・フルVer : <https://youtu.be/Wq7ravMwEyo>

・30秒Ver (ダイジェスト版) : <https://youtu.be/O9ftNKIlwfl>



大阪・関西万博 フライスルー動画 (フルVer)

Expo2025 大阪・関西万博
チャンネル登録
チャンネル登録者数 4050人

215 共有 保存

会場レイアウト② パビリオン



西エントランス

パビリオン凡例

- 公式参加パビリオン
- 企業（民間）パビリオン

東エントランス



公式参加パビリオン



- 大阪・関西万博の3つのサブテーマを通じて、テーマの実現を目指す。
- 世界各国の公式参加者（参加国や国際機関）は、それぞれの立場からSDGs達成に向けた優れた取り組みを持ち寄り、会場全体でSDGsが達成された未来社会の姿を描く。

サブテーマ 一つ以上を選択	公式参加パビリオンのテーマ展開のトピック例		SDGs 17のゴール 一つ以上に取り組む
	個人の取組、自分自身の意識改革、啓発による気づき	コミュニティ、企業、政府、国、社会等による取組	
Saving Lives (いのちを救う)	生活の中の健康、健康寿命の延伸、心（精神）の健康、季節と衣食住、食と生活 等	ライフサイエンス、労働環境の改善、貧困問題の解決、児童死亡率の低減 等	
Empowering Lives (いのちに力を与える)	自己実現、ファッション、笑い、観光、文化、芸術、スポーツ、学び 等	遠隔教育、ライフ・ワークスタイル、産業高度化、エンジェル投資 等	
Connecting Lives (いのちをつなぐ)	デジタル活用、地球環境を意識した行動、気候変動への適応 等	オンラインプラットフォーム、クラウド・ファンディング 等	

150の国及び25の国際機関の参加を目指す



企業・団体等の参加 ～多様な参加形態を用意～



- 企業・団体等はともにテーマの実現をめざすパートナー。大阪・関西万博では、これまでの万博よりも幅広い、多様な参加形態を用意。
- パビリオン出展、テーマ事業協賛、未来社会ショーケース事業参加、「TEAM EXPO 2025」プログラム参加、催事参加、営業参加、会場建設費等への寄附等

パビリオン出展

万博のテーマに沿って自由な発想で
独自に企画・出展する参加

敷地面積約3,500㎡

募集終了

9区画

テーマ事業協賛

8名のプロデューサーが企画する
テーマ事業に協賛社として参加

資金

施設・物品・役務提供

未来社会ショーケース 事業出展

会場内で未来社会の実証・実装や
テーマを具現化する展示を行う参加

事業出展

資金・施設・物品・役務提供

会場整備参加 運営参加

施設・物品
・役務提供

TEAM EXPO 2025 参加

共創チャレンジ
共創パートナー

催事参加

資金・施設・物品
・役務提供

営業参加

営業施設出店
ライセンスビジネス

万博応援参加

広報・プロモーション
寄附



「民間パビリオン出展」全パビリオンの出展場所が確定（2023.1.26発表）



（五十音順）

- ・飯田グループホールディングス株式会社
- ・一般社団法人大阪外食産業協会
- ・住友EXPO2025推進委員会
- ・特定非営利活動法人ゼリ・ジャパン
- ・玉山デジタルテック株式会社
- ・電気事業連合会
- ・一般社団法人日本ガス協会
- ・日本電信電話株式会社
- ・株式会社バンダイナムコホールディングス
- ・株式会社パナグループ
- ・パナソニックホールディングス株式会社
- ・三菱大阪・関西万博総合委員会
- ・吉本興業ホールディングス株式会社



テーマ事業の概要



テーマ事業名称

いのちの輝きプロジェクト

テーマ事業の構成

「いのちの輝き」を語り、深め、未来に残すことを象徴するパビリオンとイベントで構成する

シグネチャーパビリオン

～いのち輝くひろば～

8人のプロデューサーによる展示で
会場内最大級の領域型パビリオンを構成

シグネチャーイベント

会場の内外でイベントを実施

※リアル会場での展開を基本にバーチャル会場、
スマート運営サービスでの展開を行います。

シグネチャーの意味

万博を象徴する特別な事業でありたいという思いを
「シグネチャー」という言葉に込めました。

そして、テーマ事業が、その特徴であるクリエイティブ・ドリブンによって、8人の
専門家が、テーマをそれぞれの哲学から語り深める「署名作品」でもあります。



会場配置計画
(2022年7月時点)

- 色凡例
- 区画タイプA (国・地域別)
- 区画タイプB (国際機関)
- 区画タイプC (企業・団体)
- 区画タイプD (個人・市民)
- 区画タイプE (その他)
- 区画タイプF (その他)
- 区画タイプG (その他)
- 区画タイプH (その他)
- 区画タイプI (その他)
- 区画タイプJ (その他)
- 区画タイプK (その他)
- 区画タイプL (その他)
- 区画タイプM (その他)
- 区画タイプN (その他)
- 区画タイプO (その他)
- 区画タイプP (その他)
- 区画タイプQ (その他)
- 区画タイプR (その他)
- 区画タイプS (その他)
- 区画タイプT (その他)
- 区画タイプU (その他)
- 区画タイプV (その他)
- 区画タイプW (その他)
- 区画タイプX (その他)
- 区画タイプY (その他)
- 区画タイプZ (その他)

4-2 テーマ事業「いのちの輝きプロジェクト」のコンセプト・展示イメージ



 © LESLIE KEE	いのちを守る プロデューサー 河瀬 直美 いのちのあかし コンセプト わたしのなかのあなた、 あなたのなかのわたしに出会う場所 展示イメージ  © Naomi Kawase × 目 [mé]	いのちを響き合わせる プロデューサー 宮田 裕章 Co-being コンセプト Better Co-being 体験イメージ  © SANAA	
	いのちをつむぐ プロデューサー 小山 薫堂 EARTH MART コンセプト 「食」と「いのち」にまつわる当たり前を リセットし、ひとりひとりの行動を変える ヒントにあふれた市場 体験イメージ  © EARTH MART / EXPO2025	いのちを拡げる プロデューサー 石黒 浩 いのちの未来 コンセプト 技術と融合することにより、 いのちの可能性を拡げる 体験イメージ  © FUTURE OF LIFE / EXPO2025	
	いのちを育む プロデューサー 河森 正治 いのちめぐる冒険 コンセプト 今、ここに共に生きる奇跡 体験イメージ  © 2022 Shoji Kawamori/Office Shogo Onodera, All rights reserved.	いのちを高める プロデューサー 中島 さち子 いのちの遊び場 クラゲ館 コンセプト STEAM わくわく！を探る旅へ 体験イメージ  © steAm Inc. & Tetsuo Kobori Architects All Rights Reserved	
	いのちを知る プロデューサー 福岡 伸一 いのち動的平衡 I am You コンセプト 利己から利他へ 体験イメージ  © Dynamic equilibrium of Life / EXPO2025	いのちを磨く プロデューサー 落合 陽一 null² コンセプト デジタルヒューマンという新しい身体の写真鏡、 変形構造体建築による新しい風景の鏡、 デジタルとフィジカル二つの鏡を通じて 磨き輝く命の形を示す 体験イメージ  © 2022 noiz All Rights Reserved	 © 蛭川実花

大阪・関西万博テーマ事業「いのちの輝きプロジェクト」基本計画を4月18日に発表

「テーマウィーク」の概要

テーマウィークとは

世界が半年間の長きにわたり同じ場所に集う万博の特性を活かし、地球的規模の課題の解決に向けて英知を持ち寄り、対話による解決策を探る取り組み。
約1週間ごとに地球的課題をテーマに設定し、主催者だけでなく、公式参加国、政府・自治体、共創事業参加者、出展企業等の万博参加者、及び全国の自治体や産業界等が集い、解決策を話し合う「対話プログラム」と、行動のための「ビジネス交流」などを実施

ドバイ万博のレガシー

ドバイ万博では「気候変動や生物多様性」、「宇宙」、「都市・農村開発」、「水」など10の世界的重要課題を取り上げ、それぞれの課題に対し、世界中・各界から様々な人々が集い、リアルとオンラインを併用し議論を交わす『テーマウィーク』が実施されました。

ワールドマジリス



ドバイ万博公社が主体となり、グローバルな対話と新たな展望の創出を目的に開幕前から継続的に実施

ドバイ10のテーマ

気候変動と生物多様性	旅行と交流
宇宙	SDGs
都市と田園の開発	健康とウェルネス
包摂性	食と農業と暮らし
知と学習	水

© Expo 2020 Dubai LLC - SO

3つの意義

- ① 本格的な対話プログラムとビジネス交流によって、課題解決を目指す万博としての価値ある可能性を切り拓いたドバイ万博の継承と発展
- ② SDGsの達成と未来社会の実現に向けた共創の機会をつくと国際社会に宣言した、大阪・関西万博の約束を示す機会
- ③ 地球的課題の解決に向けて世界と直接対話する機会が得られることで、国や企業の万博参加の意義が向上

実施主体

実施場所会場内

会場外

トラック1	トラック2	トラック3	トラック4	トラック5
公式参加者	日本国政府 自治体 等	博覧会協会 (アジェンダ 2025) (テーマ事業)	TEAM EXPO 2025	万博参加企業
公式パビリオン	日本政府館 大阪パビリオン メッセ 等	スタジオ (検中) メッセ シグネチャー パビリオン	フューチャー ライフ エクスペリエンス	民間パビリオン 未来社会 ショーケース

全国規模での各種国際会議などの実施、誘致・連携

アジェンダ2025（博覧会協会主催のテーマウィークプログラム）

大阪・関西万博から世界に向けてメッセージを発信するために、博覧会協会が主体となって、対話型プログラムや展示会をテーマごとに複数回行うシリーズプログラム

特徴①

様々なステークホルダーが横断的に参加

公式参加者や政府・自治体、TEAM EXPO、出展企業など、万博に参加する多彩な事業主体と全国各地の国際会議等と連携して行うステークホルダー横断型のプロジェクト

特徴②

多様性と自由な対話

対話型プログラムは、国籍・性別・世代の多様性に富んだ少人数の講演者が各テーマについて自由に語り合うプログラムを中心に構成

特徴③

リアル+オンラインで世界中から参加

プログラムは会場内のスタジオ（検中）やメッセでリアルに参加できるとともに、オンラインを用いてインターネットからも参加可能

『テーマウィーク』への協賛参加について

①全体協賛

～2023年1月18日募集開始～

『テーマウィーク』全体の広報と、「アジェンダ2025」の事業実施にご参加いただけます。

②プログラム協賛

～2023年春頃 募集開始～

「アジェンダ2025」の特定のプログラムにご参加いただけます。

トラック1
公式参加国

プログラム

プログラム

プログラム

各事業主体
が実施

トラック2
政府・自治体等

プログラム

プログラム

プログラム

各事業主体
が実施

トラック3
博覧会協会

プログラム

プログラム

プログラム

アジェンダ
2025

トラック4
TEAM EXPO

プログラム

プログラム

プログラム

各事業主体
が実施

トラック5
万博参加企業

プログラム

プログラム

プログラム

各事業主体
が実施

『テーマウィーク』全体広報

* ①全体協賛、②プログラム協賛ともに協賛額に応じた特典が付与されます。詳しくは博覧会協会までお問い合わせください。

未来社会ショーケース事業の全体フレーム



未来社会ショーケース事業

未来社会ショーケース事業は、2025年より先の未来を感じさせる次世代技術・社会システムの実証と、2025年の万博にふさわしい先端技術・社会システムの実装の二つのレイヤーを念頭に実施を検討しています。

スマート モビリティ万博

- ・会場アクセスバス
- ・会場内・外周バス
- ・会場内パーソナルモビリティ
- ・ロボット（会場サービス）
- ・空飛ぶクルマ 等

アート万博

- ・ウォータープラザ水上ショー
- ・大屋根プロジェクションマッピング
- ・静けさの森インスタレーション
- ・パブリックアート
- ・パレード 等

デジタル万博

- ・来場者向けパーソナルエージェント、XR案内
- ・自動翻訳システム
- ・高速大容量通信環境
- ・大型映像、サイネージ
- ・プロジェクションシステム 等

グリーン万博

- ・DAC+CCS、メタネーションガス
- ・水素発電、純水素型燃料電池
- ・アンモニア発電
- ・CO2吸収路面素材
- ・次世代太陽電池
- ・帯水層蓄熱 等

バーチャル万博

- ・バーチャル会場
- ・XR演出
- ・EXPO共創事業 等

フューチャー ライフ万博

フューチャーライフパークを拠点に、様々なアイデアを実装するインキュベーション型事業

- ・未来の都市、住宅、環境、交通、文化（フューチャーライフパーク）
- ・未来のヘルスケア（健康医療等データ活用、医療機器・福祉用具 等）
- ・未来の食、農業（フードテック、自動化、食文化 等）
- ・未来への行動（TEAM EXPO 2025ベストプラクティス展示）

未来社会ショーケース事業について、実施したい案件（記載されている以外のものも含む）をお持ちの企業・団体様におかれましては、随時、博覧会協会までお寄せください。

※ 現時点のものであり、今後変更することがあります。

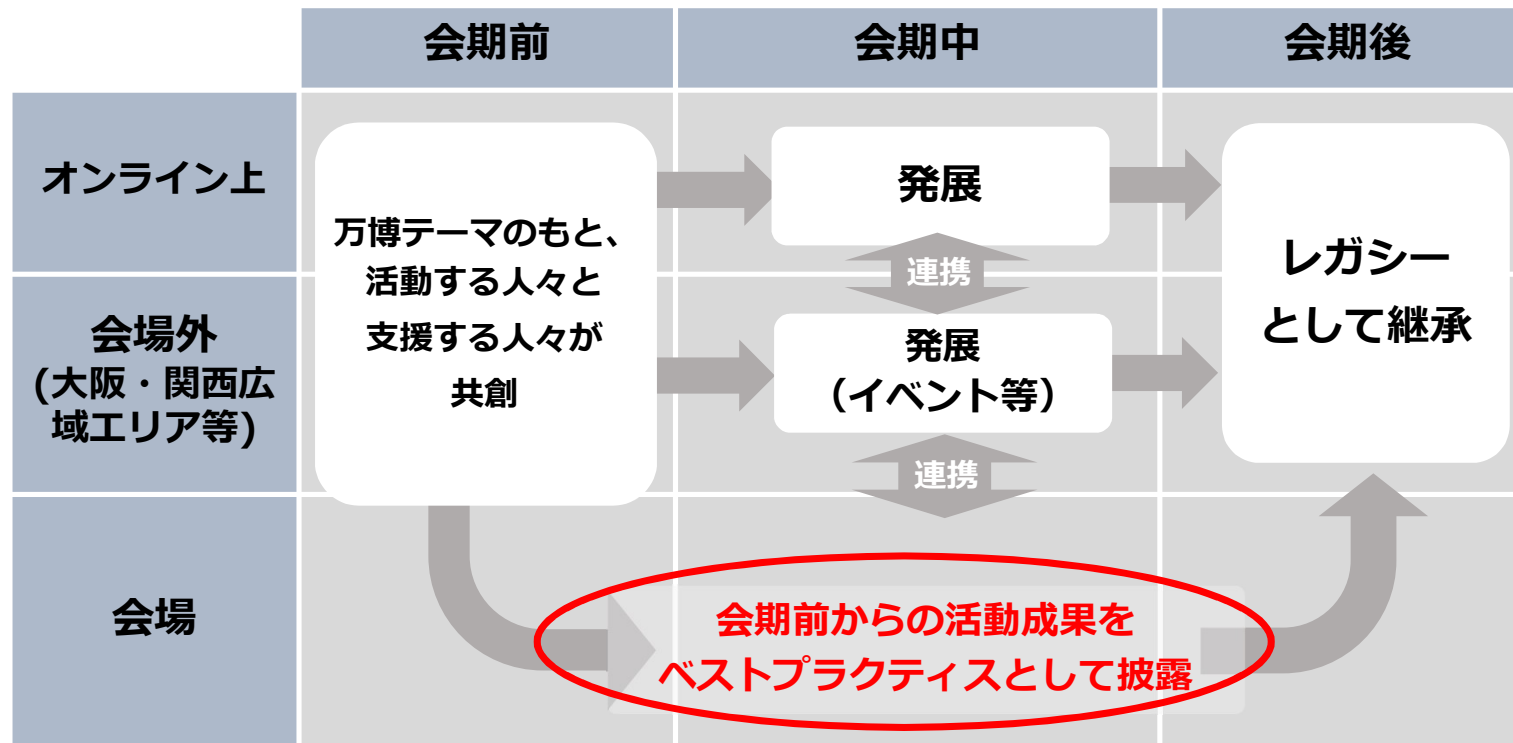


「TEAM EXPO 2025」プログラムへの参加



- 会期前より2025年に向けて、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するために、多様な参加者が主体となり、理想としたい未来社会を共に創り上げることを目指す取組みの場所等を提供。是非ご参加ください。

- 共創チャレンジ及び共創パートナー、 計808件登録（2022年7月末時点）



「TEAM EXPO 2025」プログラム ～具体的活動例～



共創チャレンジ

本万博のテーマの実現、SDGs達成の貢献に向けた多様な活動

(活動例)

- ・ 産官学が連携し、持続可能な地域づくりをめざす活動
- ・ 小中学生が子どもたちが、SDGs達成を目指すロボット制作を通じて世界の子どもと共創を進める活動
- ・ アート・デザインの力を活用したSDGsの発信、社会活動
- ・ 企業（ベンチャー企業、中小企業、大企業）がSDGs達成への貢献の元に進める新規事業活動
- ・ 万博の機運醸成に関する活動（学校、企業、団体、様々なレベルで）
- ・ 主催者イベントを盛り上げる物品の提供等
- ・ その他、環境エネルギー、健康医療、観光など様々なテーマにおける活動

TEAM
EXPO
2025

共創パートナー

多様な活動を創出・支援する企業・団体

(2022年7月末現在) ○○○団体登録



人の支援



資金の支援



場・もの の支援



情報発信の支援

民間企業（金融、メディア、教育、メーカー等）、団体、
大学、国・自治体、社会起業家等

キーワード

SDGs Society5.0

共創（Co-Creation）

多様なセクターの参加



公式キャラクター ミyakumyak (MYAKU-MYAKU)



ミyakumyak (MYAKU-MYAKU)



【受賞者】グループ名：mountain mountain
(マウンテンマウンテン)

作者(代表者)：山下 浩平(やました こうへい)

生年：1971年生

職業：デザイナー・絵本作家

「ミyakumyak」について

細胞と水がひとつになったことで生まれた、ふしぎな生き物。その正体は不明。赤い部分は「細胞」で、分けたり、増えたりする。青い部分は「清い水」で、流れる様に形を変えることができる。なりたい自分を探して、いろんな形に姿を変えているようで、人間をまねた姿が、今の姿。但し、姿を変えすぎて、元の形を忘れてしまうことがある。

外に出て、太陽の光をあびることが元気の源。雨の日も大好きで、雨を体に取り込むことが出来る。開幕前から自分のことを皆さんに知ってもらい、2025年に開催される大阪・関西万博で多くの人に会えることを夢見ています。

【出生地】関西のどこかにある小さな湧水地。

【性格】人懐っこいが、おっちょこちょいでよくボカをする。

【特技】色々な形に姿を変えられること、雨上がりに虹を見つけること。

【好きなこと】あらゆる生き物や物事と触れ合うこと。

【愛称コンセプト】

受賞者(川勝未悠さん 1984年生)

今まで「脈々」と受け継がれてきた私たち人間のDNA、知恵と技術、歴史や文化。変幻自在なキャラクターは更にあらゆる可能性をその身に宿して、私たち人間の素晴らしさをこれからも「脈々」と未来に受け継いでいってくれるはず。そんな希望を込めて「脈々=ミyakumyak」と名付けました。またミyakumyak=脈であり、生命そのもの。ミyakumyakという2音が続く様は、命が続いている音にも聞こえます。

受賞者(作田陽向さん 2002年生)

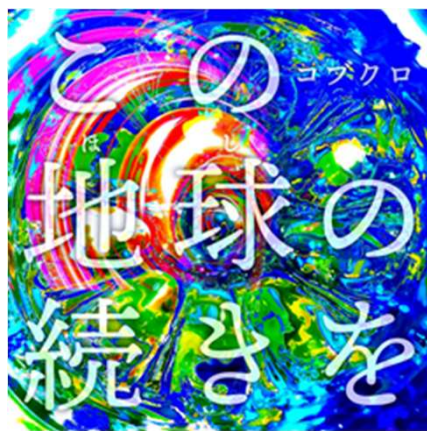
初めてキャラクターを見たとき、赤色と青色が動脈と静脈を連想させたため。また、万博のテーマである、人類文明のつながりや、国際的なつながりを、「脈」という言葉で表せられると思ったため。



オフィシャルテーマソング



■「この地球（ほし）の続きを」



公式アンバサダーであるコブクロさんが大阪・関西万博のために書下ろしたオフィシャルテーマソングです。

万博のPRや機運醸成につながる目的であれば原則無償で当テーマソングをご使用いただけます。

【使用例】

- ・万博PRイベントのBGM
- ・商業施設等でのBGM
- ・万博テーマソングとしての歌唱、演奏、合奏、ダンス等
 - 万博PR・機運醸成目的の使用に限られます。
 - 営利目的でのご使用はできません。
 - 企業広告等でのご使用は個別に担当までご相談ください。

協会HP オフィシャルテーマソング（ダンス動画・MV・歌詞等）

<https://www.expo2025.or.jp/overview/themesong/>

テーマソング使用申請・音源ダウンロードはこちらから

<https://themesong-dl.expo2025.or.jp/>

[協会提供ツールについての問合せ先]

機運醸成局 企画部 企画・推進課 テーマソング担当

themesong_dl@expo2025.or.jp



アンバサダー・スペシャルサポーター紹介



“大阪・関西万博の顔”として万博の魅力を伝える「2025年日本国際博覧会協会アンバサダー」
“大阪・関西万博の応援団”としてその発信力を活かす「大阪・関西万博スペシャルサポーター」
これまで国内外での機運醸成活動（PR映像・イベント等）にご活躍いただいています。

アンバサダー

コブクロ（ミュージシャン）



佐渡 裕（指揮者）



（五十音順・敬称略）

ダウタウン（タレント）



宝塚歌劇団（エンターテインメント）



©宝塚歌劇団

松本 幸四郎（歌舞伎俳優）



山中 伸弥

（京都大学iPS細胞研究所
名誉所長・教授）



スペシャルサポーター

ポケモン（キャラクター）



©Pokémon. ©Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK Inc.

ポリマ号（世界最大級ソーラー船）



※スペシャルサポーターは今後も順次、就任予定

